



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 武蔵精密工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7220 URL http://www.musashi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 浩史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 森一 TEL 0532-25-8111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 2019年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	123,893	△4.0	4,038	△48.1	3,959	△53.2	2,697	△50.9
2019年3月期第2四半期	129,026	13.5	7,784	32.6	8,455	37.5	5,496	58.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △3,971百万円 (-%) 2019年3月期第2四半期 1,500百万円 (△73.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	41.42	—
2019年3月期第2四半期	87.89	80.84

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	231,005	102,477	37.7	1,334.95
2019年3月期	244,450	108,333	37.4	1,405.28

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 86,993百万円 2019年3月期 91,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	42.00	—	21.00	—
2020年3月期	—	21.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,500	△6.8	10,400	△26.3	10,200	△31.0	7,000	△29.2	107.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	65,184,001株	2019年3月期	65,135,001株
2020年3月期2Q	17,470株	2019年3月期	16,152株
2020年3月期2Q	65,134,140株	2019年3月期2Q	62,530,157株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱への懸念などを受けてアジアや欧州で鈍化が見られました。一方、国内では個人消費が緩やかながら回復しましたが、輸出が低迷し、景気は足踏み状態となりました。

このような経済環境のなか、当社では自動車業界で100年に一度の大変革とされる「CASE」=Connectivity(接続性)、Autonomous(自動運転)、Shared(共有)、Electric(電動化)をチャンスと見据え、電動化時代において需要が拡大する次世代部品の受注活動強化や、当社の強みとする精密鍛造技術のさらなる進化に取り組んでまいりました。新規事業面では、テクノロジーを活かした事業活動による社会課題の解決を目的として、Musashi AI株式会社を新たに設立しました。「人にはもっと人らしい仕事を」の理念のもと、世界のものづくりの現場に幅広くAI技術を提供することで企業競争力の強化を目指します。また、将来の事業成長に向けた足がかりとして、独自の技術を有するスタートアップ企業への出資や共同開発を進めています。

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～9月30日)における連結売上高は、欧州の乗用車市場の低迷などにより、123,893百万円(前年同期比4.0%減)と減収となりました。

利益面では、連結営業利益は、4,038百万円(同48.1%減)となりました。連結経常利益は、3,959百万円(同53.2%減)となりました。そして、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,697百万円(同50.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(日本)

売上高は18,402百万円(前年同期比25.2%増)と増収、コスト低減効果等により、セグメント利益は1,173百万円(同24.3%増)と増益となりました。

(米州)

売上高は28,699百万円(同4.5%増)と増収、機種構成の変化等によりセグメント利益は711百万円(同31.7%減)と減益となりました。

(アジア)

売上高は31,676百万円(同5.2%減)と減収、インドでの需要低迷等により、セグメント利益は2,476百万円(同30.5%減)と減益となりました。

(中国)

売上高は12,044百万円(同0.0%増)と増収、北米向け輸出減少により、セグメント利益は1,113百万円(同36.6%減)と大幅な減益となりました。

(欧州)

売上高は33,070百万円(同20.1%減)と減収、乗用車需要の低迷により、セグメント損失は1,755百万円(前年同期は411百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前期末に比べて13,445百万円減少し、231,005百万円となりました。

流動資産は、前期末に比べて7,979百万円減少し、96,575百万円となりました。主な要因は、商品及び製品等の減少によるものであります。

固定資産は、前期末に比べて5,465百万円減少し、134,429百万円となりました。主な要因は、減価償却による有形固定資産の減少によるものであります。

負債は、前期末に比べて7,588百万円減少し、128,527百万円となりました。主な要因は、借入金の減少によるものであります。

非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べて5,856百万円減少し、102,477百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は13,258百万円となりました。資金の増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費等です。資金の減少の主な要因は、法人税等の支払額等です。

投資活動の結果使用した資金は9,329百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出等です。

財務活動の結果使用した資金は6,441百万円となりました。主な要因は、借入金の減少等です。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、25,271百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました予想を以下のとおり修正しました。なお、通期業績予想算定に用いた主な為替レートは、105円/US\$、119円/ユーロ、15.0円/元、3.4円/パーツです。

通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	251,000	14,500	14,300	9,100	139.74
今回発表予想 (B)	238,500	10,400	10,200	7,000	107.47
増減額 (B-A)	△12,500	△4,100	△4,100	△2,100	—
増減率 (%)	△5.0	△28.3	△28.7	△23.1	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	255,934	14,107	14,791	9,885	155.55

(修正の理由)

為替影響やアジア及び欧州での市況の低迷等により、当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日)の経営成績及び最近の当社グループの業績動向を考慮の上で、連結業績予想を下方修正致しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,152	24,904
受取手形及び売掛金	32,047	30,902
商品及び製品	11,007	8,139
仕掛品	5,671	7,648
原材料及び貯蔵品	20,683	18,333
その他	8,093	6,727
貸倒引当金	△100	△81
流動資産合計	104,555	96,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,908	44,788
減価償却累計額	△21,215	△21,721
減損損失累計額	△419	△386
建物及び構築物 (純額)	23,273	22,679
機械装置及び運搬具	212,502	209,506
減価償却累計額	△152,902	△154,845
減損損失累計額	△628	△617
機械装置及び運搬具 (純額)	58,971	54,043
工具、器具及び備品	11,912	11,948
減価償却累計額	△7,944	△8,031
減損損失累計額	△22	△20
工具、器具及び備品 (純額)	3,946	3,896
土地	7,248	7,113
建設仮勘定	9,067	12,291
有形固定資産合計	102,506	100,024
無形固定資産		
のれん	9,168	8,028
顧客関連資産	12,386	10,219
ソフトウェア	1,709	1,594
ソフトウェア仮勘定	19	29
その他	2,317	2,303
無形固定資産合計	25,602	22,175
投資その他の資産		
投資有価証券	6,440	6,938
出資金	113	136
長期貸付金	127	144
繰延税金資産	2,244	2,218
その他	2,904	2,836
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	11,786	12,229
固定資産合計	139,894	134,429
資産合計	244,450	231,005

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,129	17,972
短期借入金	25,140	25,600
1年内返済予定の長期借入金	14,515	15,298
未払金	3,267	2,426
未払費用	6,203	6,479
未払法人税等	1,188	1,061
賞与引当金	2,258	2,845
役員賞与引当金	51	23
製品補償引当金	928	729
その他	4,071	4,644
流動負債合計	74,755	77,080
固定負債		
長期借入金	49,173	40,656
繰延税金負債	6,025	4,927
退職給付に係る負債	4,644	4,385
その他	1,518	1,477
固定負債合計	61,361	51,446
負債合計	136,116	128,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,326	5,361
資本剰余金	4,305	4,340
利益剰余金	89,261	90,593
自己株式	△8	△8
株主資本合計	98,884	100,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,026	1,821
為替換算調整勘定	△9,593	△15,311
退職給付に係る調整累計額	192	197
その他の包括利益累計額合計	△7,374	△13,292
非支配株主持分	16,823	15,483
純資産合計	108,333	102,477
負債純資産合計	244,450	231,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	129,026	123,893
売上原価	108,911	107,388
売上総利益	20,115	16,505
販売費及び一般管理費	12,330	12,467
営業利益	7,784	4,038
営業外収益		
受取利息	245	250
受取配当金	309	341
為替差益	414	—
その他	247	277
営業外収益合計	1,217	869
営業外費用		
支払利息	423	391
為替差損	—	326
その他	122	230
営業外費用合計	545	948
経常利益	8,455	3,959
特別利益		
固定資産売却益	8	42
特別利益合計	8	42
特別損失		
固定資産売却損	22	1
固定資産除却損	32	27
減損損失	214	31
特別損失合計	269	59
税金等調整前四半期純利益	8,195	3,941
法人税等	2,291	1,202
四半期純利益	5,903	2,738
非支配株主に帰属する四半期純利益	407	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,496	2,697

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5,903	2,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△182	△204
為替換算調整勘定	△4,261	△6,508
退職給付に係る調整額	40	2
その他の包括利益合計	△4,403	△6,710
四半期包括利益	1,500	△3,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,806	△3,220
非支配株主に係る四半期包括利益	△306	△750

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,195	3,941
減価償却費	8,840	8,933
減損損失	214	31
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	—
のれん償却額	325	440
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	641	616
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17	△27
製品補償引当金の増減額(△は減少)	△18	△206
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	95	△42
受取利息及び受取配当金	△555	△592
支払利息	423	391
為替差損益(△は益)	38	△190
有形固定資産除売却損益(△は益)	46	△13
投資有価証券評価損益(△は益)	—	112
売上債権の増減額(△は増加)	△491	1,406
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,025	827
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,151	424
その他	3,372	△1,015
小計	16,938	15,033
利息及び配当金の受取額	550	601
利息の支払額	△401	△439
法人税等の支払額	△2,685	△1,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,402	13,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,578	△8,755
有形固定資産の売却による収入	173	57
無形固定資産の取得による支出	△153	△247
投資有価証券の取得による支出	△1,061	△934
投資有価証券の売却による収入	12	4
貸付けによる支出	△89	△83
貸付金の回収による収入	57	74
その他	△90	555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,729	△9,329
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,083	3,061
長期借入れによる収入	41	1,106
長期借入金の返済による支出	△1,819	△8,435
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,217	△1,367
非支配株主への配当金の支払額	△403	△610
その他	△298	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,780	△6,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	△242	△942
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,649	△3,454
現金及び現金同等物の期首残高	25,732	27,069
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,558	1,656
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,939	25,271

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日である連結子会社ムサシホールディングスヨーロッパ・ゲーエムベーハー及びその子会社は、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、より適時適切な情報に基づき、財務情報としての有用性を高めるため、第1四半期連結会計期間より連結決算日に仮決算を実施して連結する方法へ変更しております。

これに伴い、当該連結子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの損益については、それぞれ利益剰余金の増減として調整しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用について、当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

これにより、リースの借手は原則としてすべてのリースについて資産及び負債として計上することとしました。

IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	14,703	27,463	33,424	12,040	41,395	129,026	—	129,026
セグメント間の内部売 上高又は振替高	11,344	80	787	2,571	420	15,203	△15,203	—
計	26,047	27,544	34,212	14,611	41,815	144,230	△15,203	129,026
セグメント利益	944	1,042	3,564	1,755	411	7,719	65	7,784

(注) 1. セグメント利益の調整額65百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	アジア	中国	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	18,402	28,699	31,676	12,044	33,070	123,893	—	123,893
セグメント間の内部売 上高又は振替高	13,210	68	854	1,249	587	15,970	△15,970	—
計	31,613	28,768	32,531	13,293	33,657	139,864	△15,970	123,893
セグメント利益又は損失 (△)	1,173	711	2,476	1,113	△1,755	3,718	319	4,038

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額319百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。